

問1	オモチャカボチャの花のさき方について、正しい説明はどれですか。			
	1. 花は咲かずに、実だけができる。	2. おぼなだけで、めばなは咲かない。	3. めばなとおぼなの2種類の花が咲く。	4. 1つの花の中にめしべとおしべの両方がある。
問2	ヘチマの花のうち、めしべがあるのはどの花ですか。			
	1. つぼみ	2. めばな	3. どちらの花にもある	4. おぼな
問3	日光が直接当たるところで顕微鏡を使ってはいけなひのは、どのような危険があるからですか。			
	1. 顕微鏡が熱でこわれてしまう危険	2. 反射鏡がまぶしくて見えなくなる危険	3. レンズがくもって見えなくなる危険	4. 目を痛めてしまう危険
問4	おしべとめしべが1つの花の中にある植物はどれですか。			
	1. トウモロコシの花	2. カボチャの花	3. ヘチマの花	4. アサガオの花
問5	アブラナの花のつくりには、どのような特徴がありますか。			
	1. おしべとめしべが別々の花に分かれている。	2. おしべとめしべが1つの花の中にある。	3. おしべだけで、めしべは存在しない。	4. めしべだけで、おしべは存在しない。
問6	花のつくりの一つで、その先には花粉という粉のようなものがついている部分を何といいますか。			
	1. めしべ	2. がく	3. おしべ	4. 花びら
問7	おしべとめしべが1つの花の中にある特徴をもつ植物はどれですか。			
	1. カボチャの花	2. トウモロコシの花	3. アブラナの花	4. ヘチマの花
問8	受粉とは、どこにある何が、どこにつくことですか。			
	1. おしべの先にある花粉が、めしべの先につくこと	2. めしべの先にある種子が、おしべの先につくこと	3. めしべの先にある花粉が、おしべの先につくこと	4. おしべの先にある種子が、めしべの先につくこと
問9	ヘチマのおぼなについて、正しい説明はどれですか。			
	1. 花の下に小さな実のもとがある。	2. 花がさいたあとに実ができる。	3. おしべがある。	4. めしべがある。
問10	顕微鏡を使うとき、目を痛めてしまう危険があるため、使ってはいけなひのはどのような場所ですか。			
	1. 教室の窓から離れたところ	2. 日かげの明るいところ	3. 日光が直接当たるところ	4. 電灯の光が当たるところ
問11	花が咲いたあとに、実や種子ができるために必要なことは何ですか。			
	1. 茎がのびること	2. 受粉すること	3. 葉が大きくなること	4. 花びらが増えること
問12	花のつくりの中で、黄色い花粉がたくさんついていて、手でさわるとさらさらしている部分はどこですか。			
	1. おしべの先	2. がく	3. 花びら	4. めしべの先
問13	めしべの先の手ざわりがべとべとしているのは、どのようなことに役立ちますか。			
	1. 水をはじくこと	2. 虫を遠ざけること	3. 花びらをささえること	4. 花粉をくっつきやすくすること
問14	種子は、めしべのものとふくらんだ部分が育って何になるときに、その中にできるものですか。			
	1. 葉	2. 根	3. 実	4. 花びら
問15	おしべの先についている粉のことを何といいますか。			
	1. めしべ	2. がく	3. 花粉	4. 花びら
問16	ヘチマなどの植物で、めしべがある花のことは何とよばれますか。			
	1. めしべ	2. おぼな	3. めばな	4. おしべ
問17	おしべの先についている、粉のようなものは何ですか。			
	1. みつ	2. めしべ	3. たね	4. 花粉
問18	おしべの先についているものの特徴として、正しいものはどれですか。			
	1. 白い花粉がたくさんついていて、ねばねばしている。	2. 黄色い花粉がたくさんついていて、ねばねばしている。	3. 白い花粉がたくさんついていて、さらさらしている。	4. 黄色い花粉がたくさんついていて、さらさらしている。
問19	めしべの先に花粉がついたあと、めしべとその中身は、やがてそれぞれ何になりますか。			
	1. 実と種子	2. 花びらとおしべ	3. 根とがく	4. 茎と葉
問20	顕微鏡でピントを合わせるとき、接眼レンズをのぞきながら対物レンズと観察するものを近づけてはいけなひのはなぜですか。			
	1. 観察するものが風で飛ばされてしまうため	2. 対物レンズと観察するものがぶつかるのを防ぐため	3. 接眼レンズにゴミがついて汚れてしまうため	4. 顕微鏡のまわりが暗くなって見えなくなるため